

* 小針の健康たより * 2021. 10月増刊号①

新型コロナウイルス感染症の重症度について

一部の方が抱く新型コロナ感染症のイメージ？



アメリカで内科医として活動する安川康介さんのツイッターより

厚生労働省の診療の手引きによる重症度分類

重症度	酸素飽和度 (SPO ₂)	臨床状態	
軽症	96%以上	呼吸器症状なし 又は 咳のみで呼吸困難なし いずれの場合も肺炎所見なし	<ul style="list-style-type: none"> ・自然に良くなることが多い ・急に症状が進行することもある ・持病のある人は入院になることも
中等度Ⅰ 呼吸不全なし	93~96%	呼吸困難 肺炎所見あり	<ul style="list-style-type: none"> ・入院が必要 ・低酸素血症があっても呼吸困難を訴えないことも
中等度Ⅱ 呼吸不全あり	93%以下	酸素投与が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・高度な医療を行える施設への転院も検討
重症		ICUに入室 又は 人工呼吸器が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・重症肺炎は二つに分類される ・L型: 肺はやわらかく、換気量が増加 ・H型: 肺水腫で、ECOMO(体外式膜型人工肺)の導入を検討